

外来医療の方向性について

平成28年7月に策定した「東京都地域医療構想」で定めた東京の医療の方向性である、「東京の2025年の医療～グランドデザイン～」の実現に向けて、グランドデザインにおける4つの基本目標を、外来医療の観点から追補する形で、東京の外来医療の方向性をまとめる。

東京の将来の医療～グランドデザイン～

誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる「東京」

4つの基本目標

- I 高度医療・先進的な医療提供体制の将来にわたる進展
～大学病院等が集積する東京の「強み」を生かした、医療水準のさらなる向上～
- II 東京の特性を生かした切れ目のない医療連携システムの構築
～高度急性期から在宅療養に至るまで、東京の医療資源を最大限活用した医療連携の推進～
- III 地域包括ケアシステムにおける治し、支える医療の充実
～誰もが住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域全体で治し、支える「地域完結型」医療の確立～
- IV 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成
～医療水準の高度化に資する人材や高齢社会を支える人材が活躍する社会の実現～

<追補する外来医療に関する内容>

- I 大学病院等の高度医療機関を中心とした高度な外来医療機能の提供と地域の医療従事者のスキルアップ支援
- II 地域住民が適切な医療を受けられるよう、病院・診療所の適切な役割分担と連携の推進
- III 認知症医療や在宅医療など地域包括ケアシステムを支える医療の充実
- IV 地域の外来医療を担う医療人材の確保・育成（医師確保計画と重複）